

No. 216

令和 8 年

8 月 15 日

発行

群馬県・中之条町議会



中之条町議会HP

議会だより

あなたと議会を
つなぐ情報誌

なかのじょう

目次

- 町議会議員定数条例の一部改正について P2～P3
- 6月定例会議（6月8日～24日） P4～P5
- 常任委員会 P6～P8
- 5名の議員が一般質問 P9～P12
- 特別委員会中間報告 P13
- 議会の主な活動・編集後記 P14



表紙の場所はどこでしょうか？
正解は裏表紙に…

議員定数

次回選挙より3人減の **12人** に決定

現在の定数：

15人



次回選挙からの定数：

12人

これまでの経緯

● 議員定数・報酬検討特別委員会での検討

かねてより「議員定数・報酬のあるべき姿」について、議会改革推進特別委員会において検討されていたが、令和7年7月9日に議員定数・報酬検討特別委員会を設置。11ヶ月にわたり6回の委員会を開催し、慎重に調査、議論を行った。議会の機能を損なうことなく運営ができる議員定数として、近年の人口減少、予算規模の拡大、議会改革の推進による活動の増加への対応を踏まえて検討を重ねた。さらに住民からの議員削減の意見にも配慮し、現在の状況下で、議会として自らが議員定数を削減する方向を示した答申を行った。

議長への答申 議員定数「**削減**」、議員報酬「**継続審議**」

● 全員協議会での検討

委員会での答申を受け、全議員の意見を確認するため、全員協議会に諮^{はか}ることとし、協議を行った。

協議の結果、議員定数を「**12人**」とすることが決定

● 本会議での審議

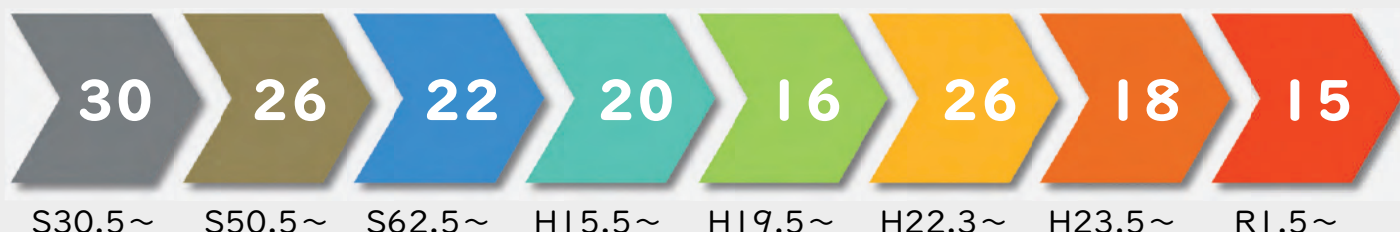
全員協議会での決定を受け、議員定数・報酬検討特別委員会委員長が令和8年6月24日の本会議で議員定数条例の改正を提案。条例改正に反対、賛成の両議員の討論が行われた。

採決の結果、賛成10人、反対4人であったため、賛成多数で議員定数を「12人」とする条例の改正が可決（討論・審議結果詳細は左ページ参照）。

次回選挙から、議員定数を「**15人**」から「**12人**」に削減することを決定

議員定数の変遷

※旧六合村と合併



S30.5～

S50.5～

S62.5～

H15.5～

H19.5～

H22.3～

H23.5～

R1.5～

討 論

反対：原沢 香司議員



今回の議案提出に至るまでに、参考人制度や公聴会制度は活用されておらず、町議会基本条例に定められたプロセスを活用せずに行われた議論では、町民の意見が正しく反映されていると判断できません。

また、議員定数と議員報酬は、議員の活動そのものを、町民の意見を聴取しながら、一体で考慮されなければいけない性格のものなので、議会改革と一体で議論をする必要があり、定数だけを切り離すことは本来できないものであると考えます。

以上2点が、町議会基本条例第17条の定めには反すると判断し、この議案に反対します。

そして、人口が減るから議員の定数も減らすべきという論点についても、人口が減っても自治体の業務難易度や負担は増大する傾向にあるため、町民と行政のパイプ役として議員の果たすべき役割は大きくなっても、決して小さくなることはないと考えます。

賛成：山本 修議員

将来の予測と展望を十分に考慮して、現在の町の人口規模や財政状況を客観的に見つめ直したとき、「12人」という定数は、議会の機能を維持しつつ、時代の要請に応えるための「適正規模」であると考えます。

また、「定数の削減により町民の声が町政に反映されにくくなる。監視機能が低下する」等が懸念されるという声も承知していますが、議員の役割は「数」の多さだけで果たされるものではないし、何よりも町民の負託に^{けんさん}応えられるよう、議員一人ひとりの資質、審査能力の向上に研鑽を積み、地域の課題をしっかりと受け止め、議員活動に励むことが肝要であることから、定数を削減したとしてもこれをカバーしていけるものであると確信しています。



審議結果

議員名等 議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		原沢 香司	福田 公雄	山本 修	割田 三喜男	山田 みどり	佐藤 力也	関 美香	大場 壮次	富沢 重典	関 常明	唐沢 清治	福田 弘明	剣持 秀喜	小栗 芳雄	安原 賢一
議第1号議案 中之条町議会議員 定数条例の一部改正について	可決	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—

注) 審議結果に対して、○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長は採決に加わらないため「—」で表示

定例会議2日目(一般質問:6月4日)の傍聴席



一般会計補正予算 <<主な事業>>

事業名	補正額	主な内容	予算総額
公共交通対策事業	142万円	医療機関等外出タクシーにおける、運賃改定に伴う業務委託料の増額等	109億 6,705万円
各種団体負担金及び補助金	583万円	(一財)自治総合センターコミュニティ助成事業で1団体、(公財)県市町村振興協会魅力あるコミュニティ助成事業で2団体が事業採択されたことに伴う各団体への助成金	
観光施設管理事業	150万円	クマ出没に伴う注意喚起や被害の未然防止対策として、四万温泉地内に鐘を設置するため、四万温泉協会への観光施設管理補助金の増額	
消防施設整備事業	2,000万円	旧検察庁跡地に大型防火水槽1基を設置するための工事費	
小学校運営管理事業 (事務局分)	143万円	六合小学校のジャングルジム等の塗装修繕費用	
給食センター運営管理事業 (事務局分)	122万円	中之条小学校の牛乳保冷库の購入費	

条例改正

★町税条例の一部改正

★町介護保険条例の一部改正

・関係法令の改正に伴い、町条例の整備を行います。

★町福祉医療費の支給に関する条例の一部改正

・県の福祉医療制度改正に伴い、町条例の整備を行います。

農業委員

★町農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれに準ずる者の割合を少なくとも4分の1とすること

・農業委員の任命は、原則として認定農業者が過半数を占めることとされているが、「農業委員会等に関する法律」の例外として、区域内の認定農業者数が委員定数の30倍を下回る場合、委員の過半数または少なくとも4分の1を認定農業者等が占めれば、議会の同意を得て任命が可能です。今回推薦・公募された

新委員候補13名中、認定農業者等は5名で、委員の4分の1の3・25人を上回り、条件を満たすため、この例外を適用することに同意しました。

★新農業委員13人の任命に同意しました。任期は7月20日から3年間です。

- ・田村万紀子氏(山田)
- ・山野 美保氏(五反田)
- ・富澤 秀行氏(赤坂)
- ・石井 孝浩氏(入山)
- ・金井 国博氏(折田)
- ・角田 里美氏(平)
- ・小坂橋 修氏(伊勢町)
- ・山口 一弘氏(山田)
- ・中澤 昌彦氏(蟻川)
- ・堀口 保利氏(五反田)
- ・富澤賀津夫氏(日影)
- ・松沢 光久氏(岩本)
- ・唐澤 巳幸氏(西中之条)

契約の締結

★令和8年度中之条小学校

特別教室棟長寿命化改良
工事請負契約の締結につ
いて

・経年劣化による壁面のク
ラックや剥離など、外壁や
屋根の傷みが進んでいるた
め、改良工事を行います。

・契約金額

1億230万円

・契約者

株式会社千島工務店

・工 期

令和9年1月29日

★令和8年度中之条中学校

特別教室空調設備設置工
事について

・猛暑日の増加に伴い、安
心して学べる教育環境を整
備するため、設置工事を行
います。

・契約金額

1億8040万円

・契約者

有限会社勝山電気工事

吾妻営業所

・工 期

令和9年3月26日

財産の取得

★議会用会議システムの購

入について

・議会用マイク等が経年劣
化により不具合が生じてき
ているため、コントロール
ユニットを中心に、マイク
をケーブルで連結させて使
用するタイプに変更しま
す。

・取得金額 776万円

・取得先

角田電気工事株式会社

・中之条営業所

・納入時期

令和8年8月

★道路除雪作業用除雪機械

の購入について

・約36年間使用した3t級
除雪車に不具合が生じてき
ているため、更新を行いま
す。

・取得金額 968万円

・取得先

コマツカスタマー

サポート株式会社

群馬支店

・納入時期

令和9年3月

福田弘明議員 3月は既に

雪の降る時期なので、12月
頃には準備すべきではない
か。

答 契約上は3月ですが、
12月には間に合わせるよう
にお話させてもらおうと思
います。

報 告

★令和7年度一般会計繰越

明許費繰越計算書

・令和7年度に予定してい
た事業が、予算成立後の事
由により令和8年度に繰越
して事業を行うことになり
ました。事業数15、繰越金
額4億7176万2千円で
す。

★中之条町上水道事業会計

予算繰越計算書

・令和7年度に予定してい
た事業が、予算成立後の事
由により令和8年度に繰越
して事業を行うことになり
ました。事業数1、繰越金
額2億3017万円です。

陳 情

★陳情第3号

国号353号、群馬県・

新潟県境未開通区間の整

備促進について

(概要)

未開通となっている国道
353号の四万から新潟県
湯沢町三国までの区間開通
は、中之条町のみでなく吾
妻郡及び群馬県全体の観
光・産業・経済・文化交流
等での発展が期待される。

また、四万地区において
は近年の多発している集中
豪雨等の災害時に、道路寸
断による陸の孤島となり得
ることも懸念される。

このような状況下を考慮
いただき、国、県知事等に
整備が実現できるよう積極
的な働きかけをするよう求
める。

委員からの意見抜粋

・長年の懸案となってい
る。費用も含めて大変だと
は思うが、当町としては開
通することが、観光面や防
災面においても重要である
と思う。

【陳情審査報告】

受理 番号	件 名	陳 情 者	委員会 審 査	本会議 採 決
陳情3	国号353号、群馬県・新潟県 境未開通区間の整備促進につ いて	沢田地区 区長会長 沢田17区長 田村 広行	採択	採択

・一つの悲願でもあると思
うので、是非、実現に向け
て町一丸となつて行けたら
と思う。

採決の結果：採択

※陳情第3号については、
「国号353号車両通行
不能区間の解消を求める
意見書」を提出しました。

総務企画

開催日 令和8年6月15日
委員長 関 美香
副委員長 山本 修
委員 福田 弘明
佐藤 力也
安原 賢一

補正予算について

佐藤力也委員 医療機関等外出タクシー業務委託料84万5千円の委託先は、また、なぜこの早期のタイミングで補正になったのか。

答 委託先は、浅白観光自動車です。補正理由は、県内のタクシーの運賃改定が令和8年3月16日にあり、当初予算には間に合わないため、浅白観光自動車と相談した結果、7月から運賃に反映をさせていたいただきたいということでしたので、補正を上げさせていただきました。

一般議案について

福田弘明委員 町税条例の一部改正はどこに重きを置いた改正か。

答 大半は上位法の条項のズレによる影響でして、それ以外で一番大きなところとしては、非課税の固定資産が増えるという改正となります。

支障木について

佐藤力也委員 支障木による電線等の火災について、危険個所の情報提供を町民の方や消防団員に協力を呼びかけたらどうか。

答 特にここ数年、倒木による電線の切断、枝が電線に接触しての火災が発生しています。昨年、東電には支障木等への対応についてお願いしましたが、消防団の方、あるいは地域の区長を通じて危険と思われるものについて優先的に情報を上げていただければ東電にもお繋ぎし、対処をお願いしていきたいと思っています。

地域商品券について

福田弘明委員 町民の方から使う場所が限られているという話を耳にしているが、現金給付で口座に振り込むことについての考えは。

答 現金が一番何でも使えて便利だと分かりますが、現金給付するのには色々検討しなければならぬ

こともありまじし、地元での消費も考えて商品券にしているということもありますので、今のところ現金給付は難しいと思います。

町の情報発信について

福田弘明委員 春の改定でLINEもA-と紐づけたりしたようだが、行政はなぜ個人情報漏洩が心配されるこのアプリを使うのか。

答 行政の情報発信におけるLINE活用には、情報管理やセキュリティへの懸念があることを認識しつつ、町は自治体向けの仕組みを活用しながら、行政情報が適切に届けられるか、情報管理に配慮した運用が可能かという観点から、活用可否を判断しています。過去の情報漏洩後、政府ガイドラインでLINEの管理は強化され、中之条町では公式アカウントでは公開前提の情報のみ発信し、個人情報を取り扱う業務では、情報がLINE社に残らない仕組みで運用しています。多数の利用者と迅速な情報伝達の利便性から今後も活用しますが、広報誌等複数の情報提供手段も維持し、新たなAI機能による問題にも注視していきます。

同窓会補助金について

関美香委員長 事業目的が「郷土愛醸成・移住定住・地域経済活性化」へ変更され、同窓会補助金の年齢要件が61歳まで拡充された。しかし、町民からは「移住定住」目的の年齢制限(61歳)に疑問の声が上がっており、今後の検討について町長の見解を求め。

答 同窓会補助金は、当初の出会いの場創設目的から利用が低調だったため、地域経済活性化を目指し拡充しました。同窓会をしたいという要望がある70代以上の方もいると思いますので、担当課と少し研究させていただきます。



※委員会終了後、『災害時の議会の対応』について、委員のみで確認を行いました。

文教民生

開催日 令和8年6月16日
委員長 大場 壮次
副委員長 原沢 香司
委員 割田三喜男
富沢 重典
小栗 芳雄

富沢家住宅について

割田三喜男委員 屋根改修工事の予定はどのようになっているか。

答 本来であれば全面改修を行いたいところですが、費用や時間が掛かることを踏まえまして、当面傷んだところを部分的に補修する形で進めていきたいと考えています。



教育事務委託について

原沢香司副委員長 長野原中学校での六合地区の生徒の様子はどうか。

答 5月1日に長野原中学校を訪問し、校長から様子をうかがいました。小さな問題やまだ慣れない生徒もいるようですが、六合地区の17名の生徒も元気に学校生活を送っているようです。1年から3年まで、学級づくりが一からになったため、クラスの雰囲気作りが重要になっているようです。

幼児教育について

富沢重典委員 少子化が進む中、あと2年以内には現状の幼稚園や保育所を2つの施設にするなど再編が必要と考えるが、今後の方針について検討していることはあるか。

答 本年度、今後の幼児教育のあり方を考える検討委員会を設置し、本年度中には一定の提言を示したいと考えています。それを受け町が方針を決め、必要があれば施設整備等を行い、スケジュール感としては、最速で令和11年4月から、方針に基づいた施設を開設できればと考えています。

地区社会福祉協議会について

割田三喜男委員 伊参地区だけでなく前から地区社協があるが、設立経緯と目的は。

答 昭和59年度に県からの3年間の地区社協のモデルケースとして指定を受けてスタートした経緯があります。指定終了後も伊参地区の福祉の充実と推進を図ることを目的として、現在も活動を続けていただいている状況です。

歯科健診について

富沢重典委員 成人の歯科健診の受診率は。

答 令和7年度の受診率が13・1%でございました。年齢階層では20歳、60歳、70歳が多く受診しています。

富沢重典委員 子どもの虫歯対策で行っていることは何かあるか。

答 以前から幼児のフッ素塗布事業を実施しています。1歳6か月児から3歳児健診、園保で6か月おきに継続してやっております。なお、令和6年は、中之条町の小学生の虫歯保有数0・01本、中学生になると若干多くなり0・4本です。

ゴミ出しについて

小栗芳雄委員 ごみ出しの困窮者に対する支援体制が必要になってくると思うが、今後の対応は。

答 高齢化でごみ出し困難な住民がいることは把握しております。令和6年度の調査では、周囲の方の手伝いや、介護保険サービスの利用で対応出来ている状況でした。現状、担い手の確保やプライバシーの保護が課題となっており、今後はアンケート調査を行い、具体的な困り事やニーズを把握し、併せて他市町村のサービスを事例を収集し、社協、民生委員、地域等と協力しながら、支援体制を検討していきます。

※委員会終了後、吾妻環境施設組合の一般廃棄物処理施設建設予定地（東吾妻町大字柏木地内）の視察を行いました。



産業建設

開催日 令和8年6月17日
委員長 山田みどり
副委員長 福田 公雄
委員 唐沢 清治
委員 関 常明
委員 剣持 秀喜

所有者不明山林について

関 常明委員 所有者不明山林の具体的な調査は行っているのか。

答 森林経営管理制度により四万地区の意向調査を実施して、その後の管理をしています。この際に県内で初めて所有者不明山林の調査を一筆行いました。

関 常明委員 森林経営管理制度について、町としての評価、考え方は。

答 森林が87%を占める町なので、所有不明林地の増加による杉藪化や災害防止のため、国・県と連携し伐採・植林を進め、森林経営管理制度や緑の県民税等を活用しながら、森林は手を入れていくということだと思っています。

野生動物について

唐沢清治委員 最近イノシシの子連れやシカをよく見かけるとい話を聞くが、現状増えているのか。

答 イノシシは予想されるに豚熱に感染して減ってきていて、捕獲頭数から見るとシカも減ってきています。

唐沢清治委員 ヤマビルが生息域を広げていると聞くが、どのように把握しているか。

答 農林課としては、主にシカやカモシカ等のヒルを運ぶ動物の生息地域が広がっていることが要因だと考えています。

中之条ガーデンズについて

剣持秀喜委員 これまでどのような運営の見直しを行ってきた、今後どのような計画をしているのか。

答 面積削減や人件費見直しを検討し、ビエンナーレ効果の増強、教育施設としての活用、多様なイベントの実施、ペット同伴試行、券売所を通らないショップ・食堂利用の実証実験等で運営改善を図ります。

剣持秀喜委員 アドバイザリーの方々のこれまでの人数や費用を含めて、現状と今後の予定は。

答 令和4年度は4名の方に委託費を支払っていましたが、段階的に費用を削減し、現在では約61%減です。また、アドバイザーの人数も令和7年度から見直しております。

花桃街道について

福田公雄副委員長 町として事業効果をどのように評価しているか。

答 生育状況に差異があることも事実ですが、事業の効果はあるものと認識しています。今後地域の皆様と協働しまして、維持管理に努めたいと考えております。

福田公雄副委員長 景観スポットが道路沿いで、安全面での心配があるが、どう考えているか。

答 町に苦情が寄せられているようなことはありませんが、そういう状況が見られるということですので、ホームページやSNS等の活用、また、関係機関と連携して対応していきたいと考えております。

物価高騰について

山田みどり委員長 小規模な事業者や高齢化している農業といった力のないところが一番影響を受けやすく、事業の継続においても課題である。必要な面でヒアリングを行っていただき、事業の継続が著しく困難であるといった場合には、積極的な支援を検討いただきたいと思うがどうか。

答 農業ばかりではなく、観光も商業も建設もみんなそうですが、色々なところに出向いて声を聴き、なかなかすぐに思うような答えがでないかもしれないけれども、少しでも、半歩でも前に進めるような考え方を持っています。

陳情審査

○「国道353号、群馬県・新潟県境未開通区間の整備促進を求める陳情」の審査が付託され審議した結果、「採択」に決定しました。

※委員会終了後、バイオマス活用事業の視察を行いました。

◀(株)吾妻バイオパワー
吾妻木質バイオマス発電所



吾妻森林組合
岡崎木材加工センター▶

わり た み き お
割田三喜男 議員
(10ページ)

- 共創のまちづくりについて
- 避難行動要支援者個別計画について

ふ く だ ひろあき
福田 弘明 議員
(10ページ)

- これからの農林業の振興策について

や ま だ
山田みどり 議員
(11ページ)

- 教職員の休憩時間について
- 支援員の配置について
- 子どもの居場所づくりについて
- スクールバスの利用について
- 部活動の地域移行について

ふ く だ きみお
福田 公雄 議員
(11ページ)

- ひとり暮らし高齢者などの見守り支援について
- 国際情勢の変化に伴う物価・燃料高騰への対応について

は ら さ わ こうじ
原沢 香司 議員
(12ページ)

- 町の農林業をどのように維持発展させていくか
- 物価高騰対策・物資不足対策について

記事では一般質問・答弁の一部を抜粋して掲載しています。(●を掲載)

全文はホームページからご覧ください

(二次元コードを読み込むと議員ごとの一般質問・答弁の全文がご覧いただけます)

◇ 議会を傍聴しませんか ◇

議場入口の受付票に住所・氏名を記入していただければ傍聴ができますので、ぜひご来場ください。

なお、傍聴席に限りがあり、入場制限をする場合がありますので、予めご承知ください。

次回の定例会議は、9月2日(水)から17日(木)の予定です。

※日程は変更になる場合がありますので、ホームページに掲載の直近の議会カレンダーで確認いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

中之条議会事務局 ☎ 0279-75-8836

なぜ、今「共創」が必要か

町長－複合的な課題の中で、行政だけでは限界があり、地域内外の人材等をつなぎ、課題解決の仕組みを継続的に作ることが必要です



割田三喜男 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



共創のまちづくり

議員

地縁型組織とテーマ別組織が補完し合う新しい地域社会をどう実現するか。

町長

役割が異なり、主体が連携できる地域運営の仕組み、場とルールを整えることで民主性と開放性を両立させた地域社会の実現を図りたいと考えています。

議員

中山間地域を再生するための行政の伴走支援はどうか。

町長

人口減少や高齢化が進む中山間地において、生活サービスや地域機能を維持するために地域の実情に応じて住民の皆さんが主体となって複数の機能を支え合う「小規模多機能自治」の考え方は極めて重要であると認識しています。

議員

小規模多機能自治推進のため、地域の拠点整備と組織化が急務と考えるかどうか。

町長

町主導の進め方ではなく、地域の実情に応じたオーダーメイドの支援を基本としたいと考えています。

議員

地域自治（住民）と団体自治（行政）の役割を規定し、持続可能な制度として定着させる必要があるかどうか。

町長

町といたしましては、条例で一律に規定するのではなく、地域の実情に即して地域計画や運営方針、必要に応じた協定等の形で実践を通じて改善できる柔軟な整理の方法を基本として取り組んでいきたいと考えています。

議員

条例は、理念条例と本格的な考え方です。まちづくりの主役は、住民であり対等な立場で、まちづくりを共創して進めていく。細かいことは、要綱・要領等で、随時変更していく。「小規模多機能自治」の考え方をもち、人と人がつながり、地域活力と自治力を取り戻す。

そして、地域の代表は、地縁型組織とテーマ型組織のまとめ役である地域運営組織の代表であるという位置づけ。地域と行政での協定書の締結など。

また、活動資金の担保を含めた持続可能な制度として定着させる等の検討をお願いします。

これからの農林業の振興について

町長－認定農業者のみならず小規模農家、林家への支援を行い、担い手の確保につなげたいと考えています



福田 弘明 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



議員

農家は中東情勢などによる生産コストの連鎖的高騰に見舞われている。これに加え政府が検討している消費税率1%への減税は消費税の納税を免除されている小規模農家にとっては手取り額が直接減ることになる。対応について伺う。

町長

食料品の消費税が減税になると実質的な負担増になる可能性が指摘されています。ここ数年の物価高騰等への対応として農業資材等価格高騰対策補助金で対応しました。

また、水道料基本料金の免除や地域商品券の交付、高齢者生活支援事業等を実施してきました。

さらに、認定農業者への農機具の購入などに対する補助を拡大、小さい農家の方も農業を嫌にならずに地域を維持していただく、環境整備を行っていただくために小規模農家への農機具購入補助を昨年度創設しました。物価高騰が激しいのでそれに対する対策も町としてできる範囲で補助の拡充を検討したいと考えています。

議員

当町が進める美味しい米作りは稲作の振興に大いに貢献してきた。これに加えて安全な米作りの観点から有機栽培米作りを推進したらどうか。

町長

米の有機栽培には課題も多いですが、他市町村での取り組みを踏まえ、研究が必要であると考えています。食べることは基本ですから、子どもたちに安心して美味しい地域の食材を食べてもらおうということに目を向け、しっかりと考え、取り組んでいくことが課題と考えます。しかしながら、現状では、気候変動による猛暑や病虫害などによる収量減少や品質低下などをしっかりと考えていかなければなりません。農業も時代に応じて変化していく必要があると思うので情報収集をしつかりして、進めていけるものは進めていきたいと思っています。

議員

林業振興の上で広葉樹の活用について取り組むべきではないか。

町長

東日本大震災の際の群馬県の広葉樹、林産物であるシイタケの原木も移動禁止ということが今でも続いています。そういったことが解決できる時期が来るだろうと思いますので状況を注視しながら広葉樹の利用について研究してまいりたいと思います。

教職員の休憩取得の実態は

教育長－各学校で職種別などにより分散、分割して設定しています



山田みどり 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



議員 休憩ができなかった場合の回復措置の現状は。また、現場の実態を把握するためにアンケート実施の検討を。

教育長

学校では、緊急、突発的な

事実への対応などにより、予定していた時間に休憩をとれない場合もあります。その場合は、管理職の指示のもと法令の趣旨を踏まえた運用に努めています。現在、教育委員会では、時間外在校時間の確認などを通じて、教職員の勤務状況の把握に努めています。また、休憩時間の取得状況についても、実態把握は重要だと考えていますが、調査だけでなく、校務効率化や業務分担見直し等、休憩の取りやすい環境づくりにつなげていくことも重要と考えております。

議員

支援を必要とする児童生徒の増加を踏まえ、各種支援員配置の現状と子どもの声を生かした支援体制は。

教育長

現在、町費による支援員として、特別支援教育支援員、生活指導支援員、養護補助支援

員、心の相談員を配置し、児童生徒個々の状況や学校の課題に応じた支援をしています。加えて、スクールバスの乗降時の見守りや図書館環境の整備を担う支援員も配置しています。児童生徒一人ひとりの思いや困り感を丁寧受け止め、支援に繋げていくことが大変重要であります。

そのため、各学校では日常的に児童生徒と関わる中で、声掛けや面談、生活ノート、保護者との連携などを通じて、子どもの思いや状況の把握に努めています。子どもたちの表情や行動の変化、小さなサインを見逃さないよう、教職員と支援員が情報共有を図りながら対応しています。

議員

放課後の居場所づくりや学童を学校に設置するなど協議を進めていく考えは。

町長

子どもの居場所については、年々需要が高まっていることは認識しています。今後ますます放課後の居場所が必要になると思っています。安全性の確保につきましても、見守り体制をさらに強化をし、学校から安全に集える場所づくりに取り組んでまいります。家庭、地域、学校三者が一体となつて中之条町なら安心して子育てができるという環境を行政としても作っていくかなければならない、そのために教育委員会や学校と連携し、協議の場が必要であれば考えてまいります。

高齢世帯や独居世帯の今後の見守り体制をどう構築するか

町長－見守り体制の整備強化が重要課題です



福田 公雄 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



議員 町には見守り施策として「緊急通報システム事業」があるが、この事業の利用状況と課題は。

町長

この事業の対象者は、おおむね65歳

以上のひとり暮らし高齢者、ひとり暮らしの重度身体障害者、その他必要性が認められる世帯となっております。5月末時点の設置世帯数は32件で、令和7年度中の通報件数は120件でした。このうち利用者の安否確認が必要な通報は52件でした。この装置の設置には親族などに連絡協力員になつていただく必要があります。少子化・核家族化の進行などにより遠方の親族に頼まざるを得ないケースが出てきています。民生委員さんと事業所との情報共有においても本事業を利用しづらいケースがあると報告されています。

議員

事業を利用しやすくするため、どのような対策を検討しているか。

町長

発報と同時に直接警備会社等に連絡が通じるようなシステムを活用し、

高齢者の安否確認や緊急時の対応について検討しているところ

議員

事業の対象者拡大も含め町として今後どのような見守り体制を構築していく考えか。

高齢化や独居世帯の増加がさらに進んでいくと考えられますので「緊急通報システム事業」の対象要件が実情に即しているか検証していく必要があります。民生委員さん、地域包括支援センターなどとの協議結果から事業化できるものはないか、防災・防犯の観点を生かすことができないかなど総合的に検討していく必要があると考えます。

国際情勢による物価高騰への生活支援について

議員

中山間地域の実情を踏まえた支援の必要性を国や県に対し、どのように訴えていくのか。

町長

買い物など店までの距離も遠く、物価の高騰と合わせ更に負担増になる

と認識しています。国や県に対しては、機会あるごとに物価高騰の影響緩和に向けた支援策の拡充を求める要望活動を積極的に行うとともに連携を密にし、必要な支援策の推進に努めます。

町の農林業をどのように維持発展させるのか

町長－新規就農者支援など担い手対策の事業を実施しています



原沢 香司 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

議員 いま行っている担い手対策の評価と今後行う予定の対策は。

町長 新規就農者は毎年2〜3名ずつおりますがこの数は正直少ないと思います。しかし、これからの就農者がAIやロボットを利用したスマート農業に移行し営農地が比較的平坦で大規模に限られると予測されることから少人数でも規模の大きな農業へと移行するには決して悪い数字ではないとも考えられます。今後は、中之条町を実習先としている高校生に就農していただくよう働きかけをしていきたいと考えています。

議員 学校給食の食材を地域内から公共調達することを提案する。

町長 かつて生産者に学校給食に地元野菜の提供をしていただいたことがありましたが、品質や量、納品の頻度や取りまとめ事務の問題等があり数年で終わってしまいました。小口ロット、多品目という学校給食独特

の注文形態は変わらないと思いますが、昨今のIT化を利用し、スマホ一つで生産物の確認から注文、精算までできる形を模索したいと思っています。

議員 農林地や機械を譲りたい人と新たに農林業をしたい人のマッチング機能が必要では。

町長 離農や経営規模縮小などによって使用されなくなった農林業用機械で引き続き使用可能なものを有効活用することは新規就農者等の負担軽減や受け入れ支援につながると考えます。しかし、本来は古物商の方などが行う業であり、所有者の財産の処分等に関わることですでに既に取り組まれている自治体を参考に研究させていただきたいと思っています。

物価高騰対策・物資不足対策について

議員 物価高・資材不足による町民生活と営業の危機に対応するために自治体独自の対応を。

町長 物価高騰が長期化する中で、様々な角度から経済的負担軽減策の導入の可能性を調査し、迅速に対応できるように努めてまいります。

安原賢一議長

吾妻郡・群馬県
町村議会議長会の会長に就任



群馬県町村議会議長会臨時総会で就任挨拶をする安原議長

当町議会の安原賢一議長が令和8年5月14日に行われた吾妻郡町村議会議長会定例総会において、町村会長に就任されました。その後、同年5月25日に行われた群馬県町村議会議長会臨時総会において町村会長に就任されました。

中之条町議会 公式Xアカウントを 開設しました！

議会における情報発信の強化を図るため、このたびX（旧Twitter）に公式アカウントを開設いたしました。

今後、議会の活動状況や各種お知らせ等を迅速かつ的確に発信してまいりますので、フォローのほどよろしくお願いいたします。

@ nakanojo_gikai



フォローはこちらから

開かれた議会へ！

議会改革推進特別委員会 活動報告

令和6年度から令和8年度にかけて、本委員会は議会の透明性向上と住民参加促進を目指し、多角的に議会改革に取り組んでまいりました。具体的な取り組みと成果を報告します。

1. 住民の多様な声に耳を傾ける 「ワールドカフェ」を開催

町民の多様な意見を議会活動に反映させるため、未来戦略ミーティングのメンバーを対象にワールドカフェ形式の意見交換会を実施しました。

参加者からは

- ・情報発信強化
- ・議員活動報告の充実

といった意見をいただきました。



今後は吾妻中央高校や地域団体との連携も視野に入れ、さらに幅広い層からの意見集約を進める予定です。

2. 議会の「今」を分かりやすく！ 本会議2画面同時中継開始

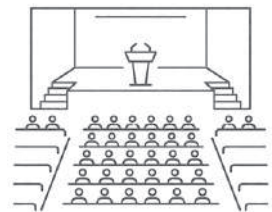
本委員会の提案により、本会議の中継映像を2画面で同時配信する方式を導入しました。これにより、議場全体の様子と発言者の映像を同時に視聴することが可能となり、議会の透明性と分かりやすさが大幅に向上いたしました。



中継映像は動画サイトを通じて公開しており、町民の皆様の議会への関心を高めることに貢献しています。

3. 次世代を育む！中之条中学校 3年生の議会見学を実施

議会運営の理解向上と、若年層への政策的関心喚起を目的に、中之条中学校3年生を対象とした議会見学を開催しました。生徒たちは実際の議場を見学し、議員との質疑応答を通じて、議会の役割や意思決定のプロセスについて理解を深めました。



今後も地域の教育機関との継続的な連携を図る方針です。

4. 議会モニター制度の運用と議会 サポーター制度への移行検討

令和6年度及び令和7年度の2年間にわたり議会モニターを募集し、町民からの意見収集と議会活動へのフィードバックを試みました。運用過程で、モニターの役割や活動内容が明確に伝わりにくい課題が明らかになりましたが、町民の意見を議会に取り入れる土台づくりが進んだ点は成果と認識しています。

令和8年度からは多様な意見収集手法を取り入れた「議会サポーター制度」への移行を検討しています。

まとめ：開かれた議会を目指して

議会改革推進特別委員会は、議会基本条例に基づき、住民意識の反映、情報公開の工夫、若年層教育への参画促進に積極的に取り組み、上記のような具体的な成果を上げてまいりました。今後もこれらの成果を踏まえ、新たな制度設計や広報活動の強化を進め、町民の皆様にとって「より開かれた議会」づくりに努める所存です。

議会の主な活動

<令和8年度>

- | | | | | | |
|------|--------|---------------------------------------|------|-------|-----------------------------------|
| (1) | 5月 12日 | 議会改革推進特別委員会（役場） | (32) | 6日 | 埼玉県嵐山町議会総務経済常任委員会視察受入（中之条ガーデンズ） |
| (2) | 14日 | 吾妻郡町村議会議長会定例総会（長野原町） | (33) | 7日 | 中之条電力・中之条パワー評議委員会及び株主総会（中之条ガーデンズ） |
| (3) | 15日 | 第1回臨時会議（役場） | (34) | 8日 | 四万清流の湯運営委員会（清流の湯） |
| (4) | 15日 | 全員協議会（役場） | (35) | 17日 | 群馬県町村議会議長会理事会（前橋市） |
| (5) | 25日 | 中之条みらい米プロジェクト田植え（伊勢町地区） | (36) | 21日 | 中之条湯河原線等整備促進期成同盟会総会（ツインプラザ） |
| (6) | 25日 | 群馬県町村議会議長会臨時総会及び町村議会議長・事務局長研修会（前橋市） | (37) | 22日 | 六合診療所管理運営協議会 |
| (7) | 25日 | 国道146号軽井沢バイパス建設等期成同盟会総会（長野県） | (38) | 8月 5日 | 国道353号県境開設促進協議会総会（新潟県湯沢町） |
| (8) | 26日 | 全国町村議会議長・副議長研修会（東京都） | | | |
| (9) | 26日 | 例月監査（役場） | | | |
| (10) | 28日 | 四万温泉協会通常総会（四万温泉ゆずりは荘） | | | |
| (11) | 28日 | 第12回中之条まちなかりレーマソン第1回運営委員会（ツインプラザ） | | | |
| (12) | 6月 1日 | 議会運営委員会・全員協議会（役場） | | | |
| (13) | 1日 | 吾妻郡消防ポンプ操法協議会出場部激励（シルクパーク） | | | |
| (14) | 6日 | ブルガリア友好フェア2026植樹祭（中之条ガーデンズ） | | | |
| (15) | 8日 | 6月定例会議第1日目（本会議）（役場） | | | |
| (16) | 9日 | 6月定例会議第2日目（一般質問）（役場） | | | |
| (17) | 11日 | 社会福祉協議会第1回理事会（役場） | | | |
| (18) | 15日 | 総務企画常任委員会（役場） | | | |
| (19) | 16日 | 文教民生常任委員会（役場） | | | |
| (20) | 17日 | 産業建設常任委員会（役場） | | | |
| (21) | 18日 | 吾妻郡租税教育推進協議会定期総会（中之条税務署） | | | |
| (22) | 21日 | 吾妻郡消防ポンプ操法競技大会（シルクパーク） | | | |
| (23) | 22日 | 「社会を明るくする運動」中之条町推進委員会（役場） | | | |
| (24) | 24日 | 6月定例会議第3日目（本会議）（役場） | | | |
| (25) | 26日 | 吾妻広域町村圏振興整備組合議会第1回臨時会（役場） | | | |
| (26) | 26日 | 吾妻郡林業振興協会総会（役場） | | | |
| (27) | 26日 | 吾妻郡郷土緑化推進委員会（役場） | | | |
| (28) | 26日 | 一般社団法人中之条町観光協会定時社員総会（バイテック文化ホール） | | | |
| (29) | 29日 | 西吾妻福祉病院組合管理運営協議会・議会臨時会（長野原町） | | | |
| (30) | 7月 1日 | アウトメディア推進委員会及びいじめ防止等のための連絡協議会（ツインプラザ） | | | |
| (31) | 2日 | 中之条町奨学金貸付審議会（ツインプラザ） | | | |



(21) 吾妻郡消防ポンプ操法競技大会



(30) 埼玉県嵐山町議会総務経済常任委員会視察受入

今回の表紙は

国道 292 号線から南大橋を渡って赤岩地域（六合地区）に入ると、「赤岩ん家」や「赤岩ふれあいの家」、水車小屋などの観光施設の横に、およそ 7000 本のマリーゴールドとサルビアが美しく咲き誇る＜赤岩の花畑＞が広がります。これまで地元の有志たちの手で丹精込めて手入れされてきた花畑は、まさに一見の価値があります。管理者によれば、「今年は例年以上に良い仕上がりで、秋までは十分楽しめます」とのことから、足をのばしてみてもいいのではないでしょうか。

編集後記：

残暑お見舞い申し上げます。立秋とは名ばかりの厳しい暑さが予想され、爽やかな秋が待ち遠しいものです。熱中症警戒アラートが発表されたら、気温が著しく高くなることによる健康被害が生じるおそれがあるので、他人事と考えず、暑さから、自分の身を守りましょう！

議員定数について、次回選挙より 3 人減の 12 人に決定しました。これまで以上に地域課題をしっかりと受け止め、町民の負託にこたえられるよう資質の向上に努め、議員活動に尽力していきたいと思えます。

少子高齢・人口減少・小家族化が進む現状で、賢く縮充する地域づくりが求められています。住みなれた場所での生活し続けるために、人と人がつながり、地域活力と自治力を取り戻す共創のまちづくりを、さらに推進していきたいと考えています。

議会広報特別委員会

委員長 佐藤 力也
副委員長 山本 香修
委員 福田 公雄
委員 割田 三喜男
委員 小栗 芳雄

割田 三喜男